

## 令和2年度 農山漁村振興交付金(山村活性化対策) 事業実施主体 評価結果

### 1. 事業評価の実施

令和2年度に実施された農山漁村振興交付金(山村活性化対策)の事業について、「農山漁村振興交付金(山村活性化対策)実施要領」(平成30年3月28日付け29農振第2261号農林水産省農村振興局長通知)の第9の1の(1)の規定に基づき、評価を行ったので、その結果を公表する。

### 2. 評価結果

都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階			評価	評価コメント
			R2	R3	R4		
北海道	浦幌町	浦幌町ふるさと資源利活用推進地域協議会	●	○	□	A	総合的に目標の達成状況が優良と認められる。

(注1) 「事業実施段階」の凡例: ○・・・交付対象年度(計画) ●・・・交付対象年度(実施済) □・・・目標年度(計画) ■・・・目標年度(実施済)

(注2) 「評価」の区分: A・・・優良 B・・・良好 C・・・低調

### 3. 第三者の意見聴取

農山漁村振興交付金(山村活性化対策)実施要領の第9の1の(1)の規定に基づき、第三者である中島義弘氏、久保博史氏から評価に当たり意見の聴取を行った。第三者及び意見聴取の概要は以下のとおり。

#### 【第三者】

中島義弘、久保博史

#### 【意見聴取の概要】

事業申請資料、事業報告書等を提示して取り組みを説明し、令和2年度の実績評価についてのコメントとアドバイスを受けた。また次年度以降の実施計画について質問があったため、令和3年度の事業概要を説明し、以下の意見を受けた。

ハマナスを利活用した商品開発やブランディング、観光資源のブラッシュアップとプロモーション、新たに整備する滞在施設の合意形成ワークショップや一次産品の商品開発など、本事業を活用して山村の活性化を目指す取り組みが始まり、令和2年度で設定していた事業目標4つのうち3つの成果指標を達成していることを確認し、この評価とした。また目標数値以外の部分においては、令和3年度に一次産品の加工を行う新会社が設立することや滞在施設が整備されるということから事業計画通りの進捗状況であり次年度以降の事業展開が期待される。